

ほうとうむすこ  
**放蕩息子**

ルカ15：11－24

月 日

ほうとう、いみ  
**‘放蕩’の意味って知ってる？**

→思うままにふるまうこと、あそんでばかりいること、わがまま なんだって！

1. お話の順序どおりになるように番号をつけましょう。(1～5番)

- ( ) 息子はもらった財産をお金にかえて遊びほうけた。
- ( ) 町にききんがおこった。
- ( ) 息子はお金がなくなったので、豚の世話をする仕事についた。
- ( ) お父さんが死んだらもらえる財産を今ください！とお願いした。
- ( ) 豚の食べるいなご豆を食べたいほどおなかが、すいていた。

2. ‘お父さんの所へ帰ろう’と思った時の息子のきもちをえらんでね。

- ( ) あっ、お金がなくなったから、もう一度お金をもらいに帰ろう！
- ( ) とってもみじめな気分だなあ～
- ( ) おいしい、ほうとうが食べたいなあ～
- ( ) ぼくは、お父さんのお金を使い果たしてなんてバカなことをしたんだ

3. 19節を読んでお父さんは息子(弟)の事をどう思っていたと思いますか？

- ( ) オレのお金を返せっ！このバカ息子！と思った。
- ( ) ちゃんと元気でやってるかな？風邪をひいていないか心配だ。
- ( ) 息子が大金持ちになって、財産の倍額を返してもらおう！と思った。
- ( ) いつ帰ってきてもいいように、ここで待っていよう。

4. 20節を読んで、あなたが放蕩息子だったら、どんな気持ちになりますか？

5. 放蕩息子のお父さんのように、あなたが、神様の事を忘れた時も、心が離れている時もずーっと愛して待っていてくれます。そんな神様に自分の気持ちを祈りしましょう。